

## C-1 指導案

# 国語科学習指導案

石川県立翠星高等学校 教諭

指導日時・教室 平成20年 6月25日(木) 3限目 21H  
対象生徒・集団 総合グリーン科学科 2年生(1～4H選択) 17人  
科目名 古典 (出版社名 第一学習社 標準古典)

### 1 単元(題材)名 物語1『竹取物語』

### 2 単元の目標

- ・図示化の方法を積極的に学ぼうとしている。 【関心・意欲・態度】
- ・5W1Hや具体と抽象などの関係に着目して、文章の表現効果や作者の表現意図を読み取ることができ、また、作品の全体像やあらすじを把握することができる。 【読む能力】
- ・古典の理解に役立てるための語句や文法等を理解し、知識を身に付けている 【知識・理解】

### 3 指導に当たって

#### (1) 生徒の状況

今年度より、朝自習を導入し、生徒にコラムを読ませて、活字に慣れ親しませたり、漢字力や日本語能力を高める取り組みを行い、読解に向けた基礎学力の強化を図っている。特に年間5回の校内漢字テストは生徒の関心も高く、不合格者は追試があるため、合格に向けて、生徒は必死に取り組んでいる。教科書の文章もかなり滑らかに音読できるようになってきたが、文と文の関係をとらえて、全体像をとることがまだ困難な生徒が多い。短い文の言いたいことをきちんとつかむことが文章全体を理解する第一歩になると考えた。

#### (2) 指導方法・指導方針

文章を図にするマッピングについては不慣れな生徒が多いので、簡単な例題で図の作り方を練習させる。また、ワークシートを用いて、図の作り方を学ばせる。

さらに、様々な表現を比較したり、共通点と相違点を生徒に考えさせたり、分類の理由を述べさせたりすることで、表現と表現の関係の理解を図る。最後に、一枚の紙にまとめることで、全体像を把握させる。

#### (3) 教材選定の理由

竹取物語はよく知られており、内容も掴みやすいので、表現と表現相互の関係を捉えるために最適と考えた。

4 単元の指導計画（総時間数 5 時間）

- 1 時 「火鼠の皮衣」を口語訳し、かぐや姫の置かれている状況を把握する。
- 2 時 「かぐや姫の昇天」を口語訳するとともに、マッピングの方法を学ぶ。
- 3 時 ワークシートに従って、かぐや姫がおかれている状況を図にして整理する。  
表現を比較し、分類する。 ……本時
- 4 時 前時に作成した図を用いて、「具体と抽象」「事実と理由」「行動と気持ち」等の関係で、文がつながっていることを確認する。兵士と天人の様子を図にする。
- 5 時 かぐや姫の置かれた状況を図式化し、この単元全体における作品の全体像やあらすじを正しく理解する。

5 本時（総時間数 5 時間中 第 2 時）

(1) 本時のねらい

- ・ 作品内容の 5 W 1 H に着目することで、かぐや姫の置かれた状況を的確に読み取ることができる。 【読む能力】

(2) 準備・資料等

教科書、ノート、古語辞典

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 5 分	振り返り	・ マッピングの行い方を振り返る。	・ ブランチの伸ばし方を確認させる。	
展開 3 5 分	かぐや姫の置かれた状況の把握	・ 5 W 1 H に従ってかぐや姫昇天の場面を図式化する。 ・ 文章中の表現をワークシートの項目で分類する。	・ ワークシートを使い、各項目をなるべく簡潔にまとめさせる。 ・ 分類させると同時に、その理由を各自に説明させる。	・ 表現内容をワークシート上の項目に分類することができる。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
まとめ 1 0 分	かぐや姫の苦しみの理解	・ かぐや姫の苦しみを作品の中から読み取る。	・ 互いに話し合わせたりしながら、ノートにまとめさせる。	